

# KOBE

# 神戸 KOBE PHILHARMONIC フィルハーモニック

©Mai Toyama

# PHIL

ピアノ独奏  
辰野翼  
Piano  
Tsunasa Tashino



第87回  
The 87th  
REGULAR  
CONCERT

## 定期演奏会 ～賛美と躍動～

2024年 6月30日(日)

神戸文化ホール  
大ホール

14:00 開演 / 13:30 開場

— 全席自由  
— 入場料  
— 一般前売・2,500円(当日・3,000円)  
— 学生・1,000円(前売、当日共)

— チケット  
— 発売日 3月10日(日) 10:00～  
— ■神戸文化ホールプレイガイド TEL.078-351-3349  
— ■イープラス <https://eplus.jp>

# HAR

指揮  
朝比奈千足  
Conductor  
Chiharu Asahina



# MONIC

- P. チャイコフスキー:管弦楽のための組曲 第4番「モーツァルティアーナ」ト長調 作品61  
PYOTR TCHAIKOVSKY:ORCHESTRAL SUITE NO. 4 IN G MAJOR, OP61, "MOZARTIANA"
- S. ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 作品43  
SERGEI RACHMANINOV:RHAPSODY ON A THEME OF PAGANINI OP43
- L.v.ベートーヴェン:交響曲 第7番 イ長調 作品92  
LUDWIG VAN BEETHOVEN:SYMPHONY NO. 7 IN A MAJOR, OP92

※やむを得ず曲目、出演者を変更する場合があります。※未就学児童のご入場はご遠慮ください。  
※学生券はご入場の際に学生証提示をお願いする場合があります。※学生券はイープラスのみの販売です。  
主催:一般社団法人 神戸フィルハーモニック協会 共催:(公財)神戸市民文化振興財団 協力:神戸フィルハーモニック後援会 お問い合わせ:神戸フィルハーモニック(富樫) 090-9613-6268

# ～ 賛美と躍動～

偉大な音楽家の遺した音楽は、後の作曲家によって様々な姿に変えられて再利用されています。たとえばチャイコフスキーも彼の少年の頃から馴染んでいたモーツァルトのピアノ曲や礼拝の時に聞こえて来た合唱曲は、ごく自然に彼の作品に取り入れられました。今回取り上げるチャイコフスキーの書いた組曲第4番はそんなモーツァルトの音楽を愛でるように書かれた曲です。またラフマニノフは、不世出の天才ヴァイオリニスト、バガニーニの演奏を賛美するように、彼のヴァイオリンのモチーフを使って個性豊かなピアノの為の狂詩曲を書きました。

そして後半は、勇気づけられる曲、ベートーヴェンの7番目の交響曲をお贈りします。思わず踊りだしたくなるような、元気の良い曲です。この交響曲は、「運命」とか「田園」という副題こそ付けられていませんが、敢えて副題をつけるとすれば、「躍動」といえるでしょう。

「賛美と躍動」巨匠たちの人間味溢れる音楽への想いを皆さまと共有することが出来れば幸いです。多くの方のご来場を心よりお待ちしております。

音楽監督 朝比奈 千足



© Mar Toyama

神戸市出身。私立三田学園高等学校を経て京都市立芸術大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻を首席で卒業。及び京都市長賞、京都音楽協会賞受賞。大学三回生時に特例として渡仏し、パリ国立高等音楽院第一・第二課程(ピアノ科)、第三課程(ディプロマ・アーティスト科)、ザルツブルグ・モーツァルトウム音楽大学 Postgraduate課程を卒業。またパリ・エコールノルマル音楽院コンサートイスト課程で審査員満場一致の首席で卒業。松方ホール音楽賞、せんがわピアノオーディション最優秀賞及び高橋多佳子賞、摂津音楽祭リトルカメラコンクール銅賞、神戸新人音楽賞コンクールピアノ部門優秀賞、オー・ドゥ・フランス国際ピアノコンクール《Les étoiles du Piano》第2位(フランス)、Delia Steinberg国際ピアノコンクール第2位(スペイン)、アルベール・ルーセル国際ピアノコンクール第2位(フランス)、ClaMo国際ピアノコンクール第4位(スペイン)など国内外で数々の賞を受賞。パリ、ライブツィヒ、東京、神戸など国内外でリサイタルを開催する他、第15回リール・ピアノ音楽祭、第11回 Piano Folies音楽祭、第19回リストマニア音楽祭、第55回ノアン・ショパン音楽祭に出演するなど勢力的に活動を行っている。これまでに大阪チェンバーオーケストラ、リベイランプレート交響楽団、日本センチュリー交響楽団、アンサンブル神戸と共演。その他、小学生の時から課外活動として合唱の伴奏で、各地のコンクールやコンサートに出演し、現在も活動している。ピアノをブルーノ・リグット、ミシェル・ダルベルト、ペーター・ラング、フローラン・ポファール、上野真、クラウディオ・ソアレス、下田幸二、竹内素子の各氏に師事、室内楽をイタマル・ゴラン、アンドレアス・グロート・ホイゼン氏に師事。神戸音楽家協会会員。京都市立芸術大学声楽伴奏員。

## 朝比奈 千足 CHITARU ASAHINA

県立神戸高校を経て慶応義塾大学卒業後ただちに渡独。1971年、ベルリン国立高等音楽学校(現芸術大学)を卒業後、クラリネットリサイタルをベルリンで開催し、クラリネットの独奏者としてデビュー。帰国して1975年に大阪フィルハーモニー交響楽団の欧州演奏旅行にソリストとしてスイス、ドイツ、オランダなど11都市で協奏曲を演奏した。1976年に指揮研修のため再び渡独、ベルリン国立歌劇場の音楽監督スイットナーの指揮助手を務める。翌77年に帰国し、大阪フィルハーモニー交響楽団と東京都交響楽団を指揮して日本でデビューした後、全国各地において本格的な指揮活動を展開する。1979年に神戸市のオーケストラ設立計画に参画し、神戸フィルハーモニックの結団と同時に音楽監督および常任指揮者に就任する。2009年に神戸市より文化賞を受ける。2015年、オーストラリア政府よりオーストラリア名誉勲章を授与される。



## 神戸フィルハーモニック

KOBE PHILHARMONIC

神戸市民のオーケストラとして神戸市により設立された神戸フィルハーモニックは、1979年4月、朝比奈隆氏をはじめとする多くの文化人や実業家によって設立された「神戸市交響楽協会」を運営母体にしてその活動を開始した。オーディションによりプロ・アマ問わず腕利きのプレイヤーが集結、他に類を見ない新しい

スタイルのオーケストラとして、1980年1月、神戸文化ホール大ホールにてデビューコンサートを実施。以来、年2回の定期演奏会、ニューイヤーコンサートに加え、依頼演奏や小編成によるサロンコンサートなど、各地で精力的に演奏活動を展開している。また、創立当初から朝比奈千足が音楽監督兼常任指揮者を務め、一貫した音楽性と表現力で同団を牽引し、豊かな神戸フィルサウンドを創造し続けている。1995年、阪神淡路大震災後、同団や団員も被災者でありながら各地で慰問演奏を実施。2011年、東日本大震災発生後、復興への思いと感謝の意を込め、チャリティーコンサートを実施し、その収益金を東日本あしなが育英会等へ付与。南三陸町歌津地区や南相馬市へ訪問演奏するなど現在もその活動を継続している。1997年、神戸市文化活動功労賞を受賞。2020年、創立40周年を迎えた同団は、「神戸市民のためのオーケストラ」として、上質なクラシック音楽とオーケストラの魅力を全国に発信し続ける。



### 今後の演奏会

#### 第88回定期演奏会

2024年10月13日(日) 14:00開演/13:30開場  
神戸文化ホール 大ホール

出演 | ヴァイオリン独奏/中村 友希乃 指揮:朝比奈 千足  
曲目 | J.ブラームス:ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品77  
A.ブルックナー:交響曲 第4番 変ホ長調「ロマンティック」

#### ニューイヤーコンサート2025

2025年1月11日(土) 14:00開演/13:30開場  
神戸文化ホール 大ホール

出演 | 指揮:朝比奈 千足  
曲目 | J.シュトラウスII:美しく青きドナウ ほか

### 後援会ご入会のご案内

神戸フィルハーモニックの後援会にご入会いただき、神戸フィルを応援していただませんか?皆さまのご協力をお願いいたします。

年会費 6,000円(1口以上)

- 特典
- ①年2回の定期演奏会及び、ニューイヤーコンサートへのご招待
  - ②会員証の発行
  - ③定期演奏会のプログラム、ホームページへのご芳名の記載

入会方法

右記のコードからお申込みいただくか、  
<http://www.kobephilharmonic.jp/formkoenkai1.htm>  
へアクセスの上、お申込みフォームからご送信ください。



### 神戸文化ホール

〒650-0017  
神戸市中央区楠町4丁目2-2

#### ▼アクセス

- 神戸市営地下鉄西神・山手線「大倉山駅」徒歩1分
- 神戸高速鉄道「高速神戸駅」徒歩8分
- JR「神戸駅」徒歩10分
- 神戸市営地下鉄海岸線「ハーバーランド駅」徒歩12分

